

「移行」ってなに？

名島保育園では、一人一人の子どもがそれぞれの発達段階に合った環境で過ごせるようにクラスが分かれています。

次のクラスで過ごす「準備」ができた子どもがそのクラスへ移動していくことを「移行」と呼んでいます。

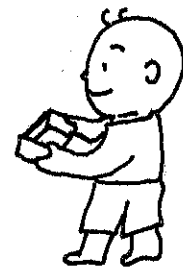
タイミング

子どもによって違いますが、大体1才3か月～1才半頃です。

隣のほし組との境を開けておくと1才を過ぎた頃から興味を持ってのぞき始めます。まだその頃は伝い歩きだったりするのですが、2～3ヶ月かけて徐々に自分の意志で自分の身体のすべてを動かすことができるようになります。

子どもの準備

- ❖ 卒乳して、食べ物を環境の中から摂ることができ、食事面で自立している。
お腹が空くと、自分からテーブルに着き、食べ物を自ら口に入れることができるようになります。卒乳をすると、子どもは自らの意志で食べようとします。自分の身体がほぼ思い通りに動かせるようになり、それが食事で達成できることは子どもの大きな自信になるからです。
- ❖ 歩行が安定する。
両手で物を運ぶことができる。
階段の昇り降りができる。
ほし組の緩やかな階段でくり返し練習します。園庭やホールでの活動に参加できるようになります。
- ❖ 言葉に興味があり、理解しようとする。
指をさして物の名称を知りたがり、話している人の口元をよく見るようになります。
- ❖ 園生活に慣れ、自立に向かおうとする心になっている。
- ❖ 日常生活、靴や衣服の着脱、排泄に興味がある。
戸外に出る時には帽子と靴を用意する。
トイレやオマルに慣れるパンツをはこうとする姿が見られます。



すすめかた 準備ができ始めた子どもを誘って、ほし・はな組、園庭、ホール等に出かけ新しい環境を紹介していきます。活動範囲が広がると、新しい活動や他の友達や保育士に慣れ、次第に食事、午睡、午後の活動過ごす時間が延びて移行していきます。移行についてわからないことがあれば、いつでも保育士にお尋ね下さい。